

2021 年 12 月 20 日

採点規則 2022 年版の情報について（追加情報）

（公財）日本体操協会審判委員会
体操競技女子審判本部

日本体操協会審判委員会体操競技女子審判本部では、2021年9月10日に2022年版採点規則の情報を公開しましたが、国際体操連盟（FIG）より2021年12月9日付で採点規則2022年版の情報を掲載したニュースレターがFIGホームページに公開されましたので、これを受け、再度新たな情報をお知らせいたします。

採点規則2022年版の正式な通達は、2022年2月下旬に開催いたします体操競技1種審判員義務研修会になりますが、今回の情報は選手の練習等に影響がある内容であると思われますので、以下の通り国内伝達をいたします。内容をご確認の上、概要を把握していただき選手のトレーニングに役立てていただきたいと思います。

記

1. 採点規則2022年版 追加情報
2. 難度表の変更・追加・新技
3. シンボル表
4. 変更規則Ⅰ・Ⅱ

以上

採点規則 2022 年版 追加情報

* Newsletter#46/FIG WAG 国際審判員 コースの準備のためのセミナー
(2021.11.28) での情報

<総則>

➤ 器械器具の高さ

- ✓ 選手の足がマットに触れてしまう場合、その競技会で段違い平行棒の高さを 5cm 上げることが許可される

- ✓ 器械器具の高さ (変更) 2022 年より

低棒 175 cm

高棒 255 cm

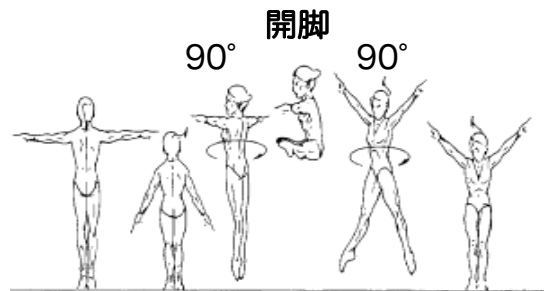
➤ 9.2.2 ひねりを伴うジャンプ、リープ、ホップの難度点の承認 (補足説明)

- ✓ 1/2 ひねり(180 度)を伴うジャンプ、リープ、ホップでは、ひねりの「はじめ」または「終わり」に規定された姿勢に達していなければならない

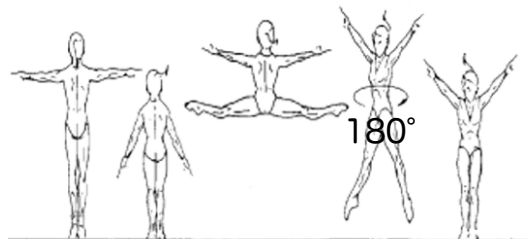
(例：左右開脚とび 1/2 ひねり)

- ✓ 踏み切って、1/4 ひねり (90 度) ~開脚
~1/4 ひねり (90 度) では 1/2 ひねり
(180 度)を伴うジャンプとは承認されない

注：この技術で平均台で横向きに実施した場合、縦向きでの左右開脚とびと承認する

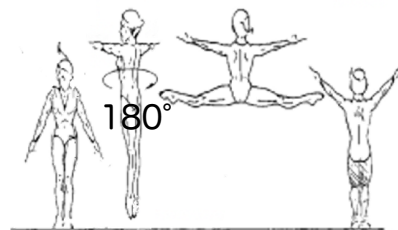


- ✓ ひねりの「はじめ」に開脚
~1/2 ひねり (180 度)



OK

- ✓ ひねり(180 度)の「終わり」に開脚



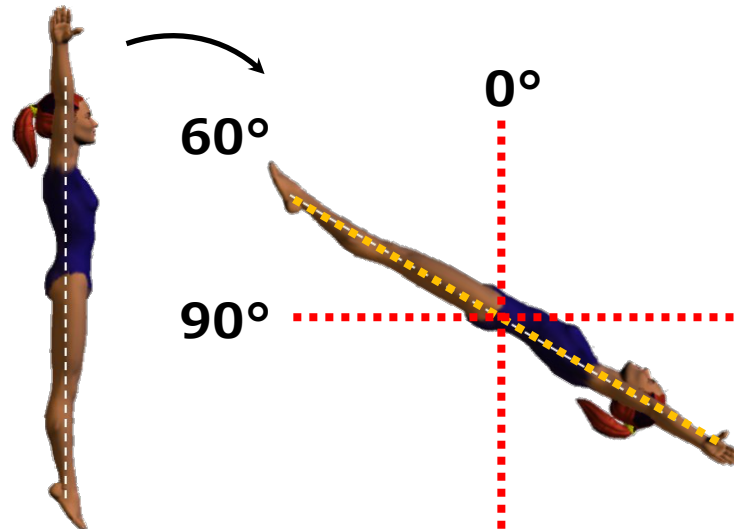
OK

<跳馬>

➤ ½(180度)ひねりを伴う前方宙返り

技の承認要求

- ✓ 着手後、垂直の位置（頭が上）で伸身姿勢
- ✓ ひねりの後、逆さま（頭が下）になった状態で垂直から 60 度の位置まで伸身姿勢を保たなければならない



<段違い平行棒>

➤ 選手の責任

- ✓ 開始技を実施するために低棒の下を走る
→最終スコアから-0.30（変更なし）

- ✓ 挨拶の後、開始技を実施するために歩いて低棒の下をくぐり、棒間から演技開始
→減点なし

➤ 内容のない振り

→実施減点はしない

➤ パク宙返り（3.404）の減点について

- ✓ 空中局面を伴う技であるため、「空中局面を伴う技の高さが不十分 0.10/0.30」の項目を適用する。

ガイドライン：宙返りの重心が最も高い位置で判断

- 高棒より上 減点なし
- 高棒の位置 -0.10
- 高棒より下 -0.30

<平均台>

➤ 技の承認

✓ 3.304 & 3.404 & 3.504 前へ伸ばした浮脚の踵を水平に保つターン

- 浮脚を曲げた場合、要求を満たさない
- 浮脚を手で保持することは認められない

✓ 3.207 & 3.307 & 3.407 & 3.507 片足上でのしゃがみ立ちターン

- 浮脚を曲げた場合、要求を満たさない

✓ 5.411 片足踏み切り、側方かかえ込み宙返り、横向き着台

- 片脚が伸びていた場合、「側方かかえ込み宙返り」と承認する
 - * かかえ込み不十分の減点適用
- 両脚が伸びていた場合、「側方開脚伸身宙返り」と承認する

➤ 前方開脚伸身宙返りとの混合の組み合わせ

- ✓ 浮脚が着台すると同時に一方向に腕を振り下ろしながら次の技へつなげる
- 組み合わせ OK



✓ 前、後ろに振り戻す（ダブルスイング）

- 組み合わせ 認められない

➤ 芸術性と構成の減点

✓ 身体各部位が芸術的表現に十分関与していない -0.10

→演技全体を通して、身体の異なる部位を組み合わせで動かさなければならない

→同じ身体の部位を使い過ぎたり、同じ種類の動きばかりをしない

✓ 不十分なつま先立ちの動き -0.10

→つま先立ちの動きをする時は最大限につま先を伸ばした（踵をあげた）実施でなければならない

→つま先立ちの振り付けがない演技に対する減点ではない

✓ 横向きの動きに欠ける -0.10

→変化のある移動ー1歩横へ踏み出してから閉じるだけでは不十分（A地点からBを通過してC地点へ）

→移動は、少なくとも身体の2つの部位を使って動かさなければならない。
ただ横に移動しポーズするだけでは不十分

✓ 台に接する平均台に近い動き/技の組み合わせがない -0.10

*少なくとも2つの異なる身体の部位が台に接する

→「ポーズ」では要求を満たさない、また、シンプルに両腕を回すだけでは不十分

→もし、振り付けがあれば、縦向きに台をまたぐ座の姿勢でも1つの部位が接したとみなされる

<ゆか>

➤ 技の承認

✓ 2.202 & 2.402 前へ伸ばした浮脚の踵を水平に保つターン

→浮脚を曲げた場合、要求を満たさない

→浮脚を手で保持することは認められない

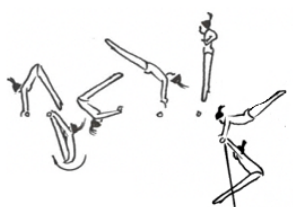
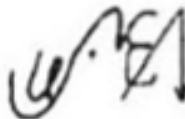
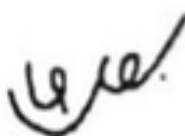
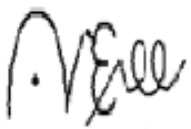
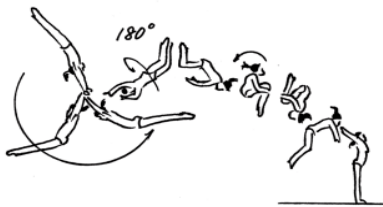
✓ 1.212 & 1.312 伸ばした浮脚を水平より上で保った(1/2・1回)ひねりとび

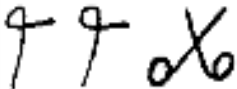
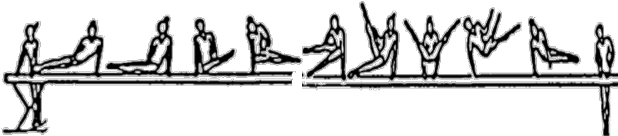
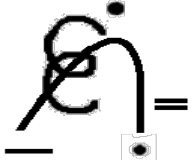
→浮脚を曲げた場合、要求を満たさない

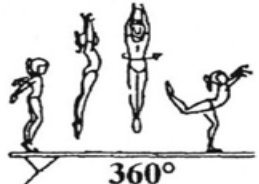
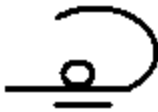
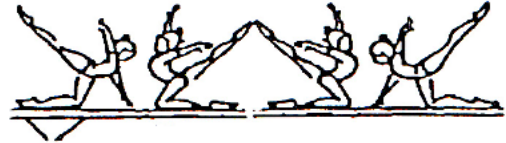
難度表の変更・追加・新技

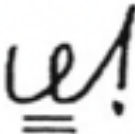
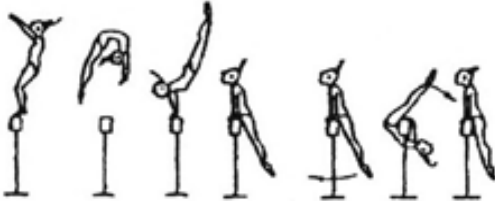
*採点規則 2017 年版からの変更・追加および 2021 年発表の新技を掲載しています。

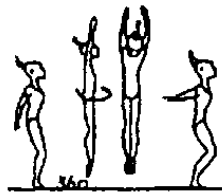
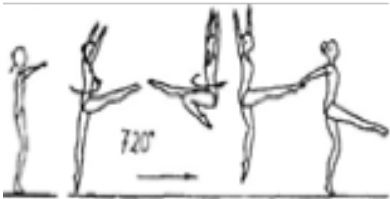
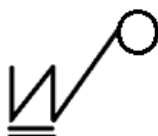
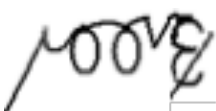
種目	解説		シンボル	図	難度
UB	変更	#2.407 低棒支持～後方浮支持回転前とび出し(開脚、閉脚)～1/2 ひねり上移動 高棒懸垂			C → D
	新技	#2.606 後方浮支持回転～開脚背面とび越し 1/2 ひねり～片大逆手高棒懸垂			F
	変更	#3.408 屈身イエーガー宙返り～高棒懸垂			E → D
	変更	#4.302 高棒、後方開脚浮腰回転前とび出し ～下移動低棒浮支持			B → C
	変更	#5.510 後方屈身足裏支持回転～開脚背面と び越し 1/2 ひねり～片大逆手高棒懸 垂			F → E

種目	解説		シンボル	図	難度
UB	変更	#5.610 後方屈身足裏支持回転～伸身背面と び越し（伸身姿勢で棒を越える）～ 高棒懸垂			G → F
	新技	#5.710 後方屈身足裏支持回転～伸身背面と び越し 1/2 ひねり～片大逆手高棒懸 垂			G
	変更	#5.502 高棒背面閉脚浮支持～ 順手背面振り出し～1/2 ひねり～下 移動低棒倒立			D → E
	変更	#5.502 高棒背面閉脚浮支持～ 順手背面振り出し～棒間で後方伸身 宙返り～下移動低棒浮支持			D → E
	変更	#6.308 大逆手、後ろ振り～1/2 ひねり～後 方かかえ込み 2 回宙返り下り			D → C

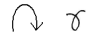
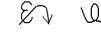
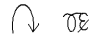
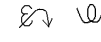
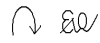
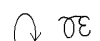
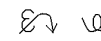
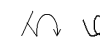
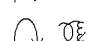
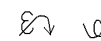
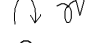
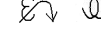
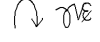
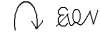
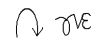
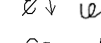
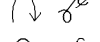
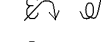
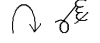
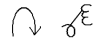
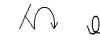
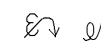
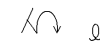
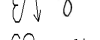
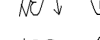
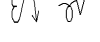
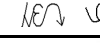
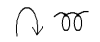
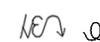
種目	解説		シンボル	図	難度
BB	変更	#1.303 開脚旋回 2 回			B → C
	変更	#1.403 閉脚旋回 2 回から開脚旋回			C → D
	変更	#1.314 台に背を向けて立ち、後転とび、 胸倒立から正面支持			D → C
	新技	#1.314 台に背を向けて立ち、後ろとび 1/2 ひねり、胸倒立から正面支持（両手 で台の下をつかむ）			C
	変更	#1.215 台の横へ、台の下をつかみ側方倒立 回転から正面支持			C → B

種目	解説		シンボル	図	難度
BB	変更	#2.101 片足踏み切り、前後開脚とび			B → A
	変更	#2.209 (片足、両足) 踏み切り、伸身とび 1 回ひねり			C → B
	追加	#2.110 前へはさみとび (両脚は水平より上)			A
	移動	#2.408 片足踏み切り、前後開脚とびから輪 *技番号 (ボックス) の変更 (  と同一ボックス)			D
	削除	片膝水平立ち 1 回ターン 片膝水平立ち 1 1/2 ターン 片膝水平立ち 2 回ターン			すべて削除

種目	解説		シンボル	図	難度
BB	追加	#4.204 台をまたいだ座から後ろへ振り上げ、腰を伸ばし肩を経過した前転、座の姿勢またはしゃがみ立ちへ			B
	変更	#4.305 後転倒立、台に触れた姿勢へ			B → C
	変更	#5.405 横向き、後転とび（正面支持、後方支持回転）			C → D
	新技	#6.201 片足踏み切り、側方伸身宙返り 1/2 ひねり下り			B

種目	解説		シンボル	図	難度
FX	変更	#1.110 (片足、両足) 踏み切り、伸身とび 1 回ひねり			B→A
	変更	#1.514 (片足、両足) 踏み切り、ウルフと び 2 回ひねり			D→E
	変更	#2.207 ターンのはじめから終わりまで浮脚 を伸ばした、片足上でのしゃがみ立 ち 1 回ターン			A→B
	新技	#4.605 後ろとび 1/2 ひねり 前方屈身 2 回宙 返り 1/2 ひねり			F

2021 FIG Vault Table

GROUP I			GROUP II			GROUP III			GROUP IV			GROUP V		
1.00		1.60	Qualification: 1 vault must be performed. This vault score counts for Team & AA total If the gymnast has been registered in the start list to qualify for Apparatus Finals a 2nd vault must be performed Score of both vaults averaged = Final Score Team & AA Finals: 1 vault must be performed Apparatus Final: The 2 vaults must be from different groups and have different 2nd flight phases											
1.01		2.00												
1.02		2.60												
1.03		3.20												
1.04		3.60												
1.05		4.00												
1.10		2.00	2.10		3.60	3.10		3.20	4.10		3.00	5.10		3.80
1.11		2.40	2.11		3.80	3.11		3.40	4.11		3.20	5.11		4.00
1.12		2.80				3.12		3.80	4.12		3.60			
			2.12		4.20	3.13		4.20	4.13		4.00	5.12		4.40
			2.13		4.60	3.14		4.60	4.14		4.40	5.13		4.80
1.20		1.60	2.20		3.80	3.20		3.40	4.20		3.20	5.20		4.00
1.21		2.40	2.21		4.00							5.21		4.20
1.22		2.60												
1.23		3.20	2.22		4.40							5.22		4.60
1.24		3.60												
1.30		3.20	2.30		4.40	3.30		3.80	4.30		3.60	5.30		4.60
1.31		3.60	2.31		4.60	3.31		4.00	4.31		3.80	5.31		4.80
			2.32		5.00	3.32		4.40	4.32		4.20	5.32		5.20
1.40		2.00	2.33		5.40	3.33		4.80	4.33		4.60	5.33		5.60
			2.34		5.80	3.34		5.20	4.34		5.00	5.34		6.00
						3.35		5.60	4.35		5.40			
1.50		2.20	2.40		4.80				4.40		3.60			
1.51		2.60	2.41		5.20				4.41		4.00			
1.52		3.00							4.42		4.20			
1.53		3.40	2.50		6.00				4.50		3.80			
1.60		2.40							4.51		4.20			
1.61		2.80							4.52		4.60			
1.62		3.20				4.53		5.00						

		A-.100	B-.200	C-.300	D-.400	E-.500	F-.600	G-.700
1. ↑	01	L L						
	02	U U	YEL					
	03	K K	LZ Z					
	04	J J	J J	J				
	05	J						
	06	J	J J	J	J			
	07		J J	J J	J			
	08		J J	J J	J			
	09				J J	J	J	J
	10		J J	J J	J			
	11				J J			
2. J	01	J	J J	J	J			
	02		J J	J J				
	03			J J	J	J		
	04	O			J J	J		
	05	O O		J J	J	J		
	06		J	J	J	J J	J J	
	07			J	J			
3. U	01		U U	U	U U			
	02				U	U		
	03				U U	U U		
	04			U	U	U	U	
	05				U U	U	U	
	06		U U	U	U U	U		
	07			U	U			
	08			U	U	U	U	
	09			U U	U			
	10			U	U	U	U	

		A-.100	B-.200	C-.300	D-.400	E-.500	F-.600	G-.700
4. X	01	X	X	X X	X			
	02			X	X	X	X	
	03	X			X X	X X		
	04	X		X X	X	X		
	05		X	X	X	X		
	06	X			X X	X		
	07	X			X X	X		
	08		X	X		X X	X	
5. U	01	X		X X		X		
	02		X	X	X	X		
	03			X	X			
	04	X		X X	X X			
	05	X		X X	X			
	06	X		X X	X			
	07		X	X			X	
	08	X		X	X	X		
	09				X	X X		
	10				X	X X	X	X
6. ↓	01	X	X	X X	X			
	02	X		X X	X X	X		
	03			X X	X X	X		
	04	X	X	X	X	X		
	05		X	X	X	X	X	
	06				X	X		X
	07				X X	X X	X	X
	08	X	X	X	X	X	X	X
	09		X	X	X	X	X	X
	10		X	X	X			

77	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F.600	G.700
1. 01							
↑ 02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							

77	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500
2. 01					
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
09					
10					
11					
12					
3. 01					
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
4. 01					
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
09					
10					

77	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F.600	G.700	H-800
5. 01								
02								
03								
04								
05								
06								
07								
08								
09								
10								
11								
12								
13								
6. 01								
02								
03								
04								
05								
06								
07								

		A-100	B-200	C-300	D-400	E-500
1. —	01					
	02					
	03					
	04					
	05					
	06					
	07					
	08					
	09					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
2. ○	01					④
	02					
	03					
	04					
	05					
	06					
	07					
	08					

		A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F-600	G-700	H-800	I-900	J-1.00
3. =	01										
	02										
	03										
	04										
	05										
	06										
	07										
4. o	01										
	02										
	0.3										
	04										
	05										
5. e	01										
	02										
	03										
	04										

変更規則 I・II

採点規則2022年版を以下のように部分変更して変更規則とする。

☆変更規則 I、II 共通の変更

<短い演技>

演技の実施と芸術性の減点がなされるEスコアの最高点は以下の通り：

- 10.00 もし6技以上の実施であれば
- 6.00 もし5技の実施であれば
- 5.00 もし4技の実施であれば
- 4.00 もし3技の実施であれば
- 3.00 もし2技の実施であれば
- 2.00 もし1技の実施であれば
- 0.00 もし技の実施がなければ

< A (0.10) の難度を認められる要素>

以下の要素は1技として数えられるが、構成要求、組み合わせ点、シリーズボーナスには使用できない。また、平均台において横向きでのジャンプを実施しても1つ高い難度は与えられない。

ー平均台

- 伸身とび
- かかえ込みとび
- 前転
- 後転

ーゆか

- 前方倒立回転
- 側方倒立回転
- 後方倒立回転

<第8章 一般欠点と減点表>

追加

ー前向きでない構成(段違い平行棒、平均台、ゆか) -0.10/0.30/0.50

<跳馬>

10.2 助走

選手が跳躍板や器械に触れていなければ、3回の助走が許される。
(余分な助走の減点は適用されない)

10.4 種目特有な要求

2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。

10.6 種目特有な実施減点 ※グループ1の跳躍技のみに適用

追加

支持局面 ・支持が長い -0.10/0.30/0.50

変更

第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける -0.10/0.30/0.50

☆変更規則 I

7.4.3 終末技ボーナス

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、B難度またはそれ以上の終末技に対して以下のボーナスが与えられる。

- Bの終末技 +0.30
- Cの終末技 +0.50
- D以上の終末技 +0.70

*Dスコアに加算される。

*大過失のある実施にもボーナスが与えられる。

<構成要求> ※下線部変更

ー段違い平行棒

1. 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
2. 空中局面を伴う技(構成要求1とは兼ねられない、終末技を除く)
3. 異なる握り(後ろ振り上げ、開始技と終末技を除く)
4. 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技(開始技を除く)

ー平均台

1. 180度開脚(前後または左右)または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン(グループ3)または接転系の技/旋回
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(同一技でもよい)
4. 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技

ーゆか

1. 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)の組み合わせでの移動
2. ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り
3. 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン
4. 同じまたは異なるアクロラインで
後方宙返りと前方宙返り(片足踏み切りの宙返りは除く)

<平均台、ゆか共通>

芸術性と構成の減点

変更

- ・身体の姿勢が悪い(頭部、肩の位置、胴体) - 0.10 / 0.30
- ・大きさ不十分(身体を最大限に使った動き) - 0.10 / 0.30
- ・つま先が伸びない/足が緩む/足が内向き - 0.10 / 0.30

☆変更規則Ⅱ

7.2 難度点(DV)

難度点の制限 : F 難度、G 難度、H 難度、I 難度、J 難度の技が実施された場合、それぞれの技に最大0.50の価値が与えられる。

7.4 組み合わせ点

難度点の制限を考慮に入れ、F 難度、G 難度、H 難度、I 難度、J 難度の技は、すべてE 難度の技の公式にあてはめて算出する。

7.4.3 終末技ボーナス

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、A 難度またはそれ以上の終末技に対して以下のボーナスが与えられる。

・A の終末技	+0.30
・B 以上の終末技	+0.50

*Dスコアに加算される。

*大過失のある実施にもボーナスが与えられる。

<構成要求> ※下線部変更

一段違い平行棒

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施(開始技と終末技を除く)
2. 後ろ振り上げ倒立(閉脚)
3. 2つの異なるB難度以上の棒に近い回転系の技(空中局面を伴わない)
4. 180度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技

ー平均台

1. 180度開脚(前後または左右)または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン(グループ3)または接転系の技/旋回
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ(同一技でもよい)
4. 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技

ーゆか

1. 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)の組み合わせでの移動
2. ひねり(1回ひねり以上)を伴う宙返り
3. 前方の宙返りを含むアクロライン(片足踏み切りの宙返りは除く)
4. 後方の宙返りを含むアクロライン

<構成減点>

ー段違い平行棒

「低棒から高棒へジャンプして移動する - 0.50」 減点項目削除

<平均台、ゆか共通>

芸術性と構成の減点

変更

- ・身体の姿勢が悪い(頭部、肩の位置、胴体) - 0.10/0.30/0.50
- ・大きさ不十分(身体を最大限に使った動き) - 0.10/0.30/0.50
- ・つま先が伸びない/足が緩む/足が内向き - 0.10/0.30/0.50